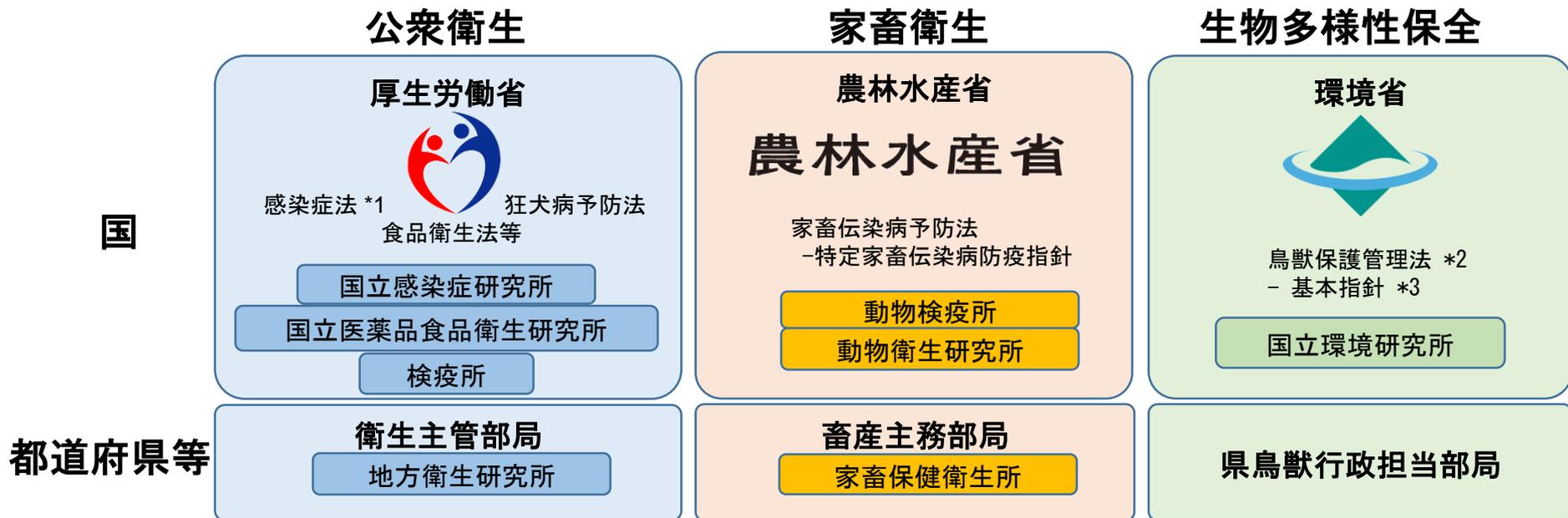


### 1. 主要関係機関

- 野生鳥獣に関する感染症は野生鳥獣の個体群の保全を含む生物多様性の確保並びに人の生活や家畜の飼養等への広範な影響を及ぼすことから、生物多様性の保全や公衆衛生、家畜衛生等に関する各分野にまたがる問題。

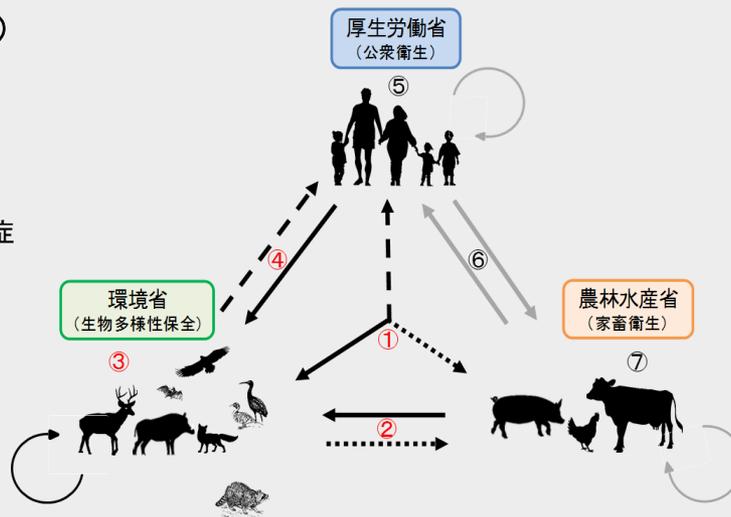


#### 参考：野生鳥獣に関する感染症（資料1-2）

①+②+③+④：野生鳥獣に関する感染症

- ①野生鳥獣、人間、家畜の間に伝播する感染症
- ②野生鳥獣と家畜の間に伝播する感染症
- ③野生鳥獣の間のみで伝播する感染症
- ④野生鳥獣と人間の間に伝播する感染症
- ⑤人間の間のみの伝播する感染症
- ⑥家畜と人間の間に伝播する感染症
- ⑦家畜の間のみで伝播する感染症

※いわゆる人獣共通感染症は①+④+⑥



\*1感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

\*2鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律

\*3鳥獣の保護及び管理を図るための事業を実施するための基本的な指針

# 国内の関連取組について（中間報告）概要版

## 2. 各省の取り組みの概要

●野生鳥獣種ごとの感受性や感染状況・伝播様式、生態・生息状況等に関する情報が限られるほか、影響の有無や大きさも分野によって異なることから、対策に関わる制度・予算を所管する省庁がそれぞれの優先度とリソースに基づき対応。

### 厚生労働省

#### ■人の動物由来感染症対策の一環としての対応

- ・感染症法等に基づき、特定の動物由来感染症の人の発生状況及び動物の病原体保有状況の届出を義務付け。
- ・野生動物の狂犬病やウエストナイル熱のウイルス保有状況調査を実施。
- ・野生鳥獣肉による食中毒防止のための衛生管理に関するガイドラインを策定

#### 【水際対策】

- ・輸入動物を原因とする人の感染症を防ぐため、動物の輸入を規制
- ・検疫空港・検疫港湾においてねずみ族を含むベクターサーベイランスを実施

### 環境省

#### ■生物多様性保全の観点から対策を実施

- ・野鳥における高病原性鳥インフルエンザ対策を実施
- ・農林水産省による豚熱・アフリカ豚熱対策に協力
- ・大量死や感染症の発生状況について情報を収集
- ・希少種の保護増殖計画の中で感染症に配慮

### 農林水産省

#### ■野生動物から家畜に伝染するおそれが高い監視伝染病に係る取り組みを実施

- ・野生イノシシにおける豚熱、アフリカ豚熱対策を実施
- ・野鳥における高病原性鳥インフルエンザのウイルス検査に協力（動物検疫所、動衛研）
- ・ウエストナイル熱に関する死亡野鳥調査に係るマニュアルを策定
- ・一部の監視伝染病を対象に野生動物における監視を実施
- ・農場における飼養衛生管理基準等の策定

#### 【水際対策】

- ・海外からの伝染性疾病の侵入を防止し、畜産業の振興と公衆衛生の向上を図るため、動物検疫を実施

各分野がこれまで以上に連携して取り組むことが求められる

# 国内の関連取組について（中間報告）概要版

## 3. 国内の野生鳥獣に関する感染症の発生状況の把握

- サーベイランスが行われている疾病については、マニュアルなどが整備されている。
- 各省が独自に実施しているが、一部の疾病についてはサーベイランスに不可欠な検体の収集や検査などで協力がみられる。

	感染症	対応	検体回収	検査・診断機関	ガイドライン等
厚生 労働省	狂犬病、SARS等	動物を診断した獣医師の届出	獣医師	獣医師	診断基準
	ウエストナイル熱	衰弱・死亡野鳥の調査（死亡数等）	大規模公園管理者 ／空港管理者等	地方衛生研究所／輸入食品・検疫検査センター	調査実施要領
	狂犬病	野生動物（タヌキ、アライグマ等）の狂犬病ウイルス検査	都道府県、道路管理者、捕獲事業者等	地方衛生研究所、感染研	調査ガイドライン
農林 水産省	高病原性鳥インフルエンザ	環境省のサーベイランスに協力（検査）	都道府県	動物検疫所、動衛研	
	豚熱、アフリカ豚熱	全国サーベイランス（死亡イノシシ、捕獲イノシシ）、発生地周辺監視強化、経口ワクチン散布（豚熱）	都道府県、猟友会等	家畜保健衛生所、動衛研、国環研	特定家畜防疫指針 防疫措置マニュアル ワクチン野外散布 実施指針 空中散布の準備と 実施の手引き
	ウエストナイル熱	発生地周辺監視強化（死亡野鳥）	都道府県、動衛研	家畜保健衛生所、動衛研	防疫マニュアル
	重要な家畜伝染病	一部の野生動物（シカ、イノシシ、野鳥）における浸潤状況調査、検査体制整備	都道府県、猟友会	動衛研、協力大学	委託事業
環境省	高病原性鳥インフルエンザ	全国サーベイランス（糞便、死亡野鳥）、発生地周辺監視強化、渡り鳥の飛来状況監視、渡り鳥の飛来経路解明	都道府県	国環研、動衛研、協力大学	対応技術マニュアル
	豚熱、アフリカ豚熱	農林水産省のサーベイランスに協力（検体採取、検査）	猟友会等	国環研	防疫措置マニュアル

### 自治体、猟友会等

- ・検査、防疫措置等の対策の最前線
- ・検体の確保（に係る調整）、

### 大学、研究機関

- ・国の研究助成制度も活用した独自の調査・研究
- ・国等のサーベイランス事業への協力

# 国内の関連取組について（中間報告）概要版

## 4. 動物の感染症の水際管理

- 感染症予防法、家畜伝染病予防法に基づき、家畜衛生又は公衆衛生の観点から、特定の疾病と動物の組み合わせを対象にした動物の輸入規制が行われている。
- 検疫感染症の侵入を水際で防止する一環として、港湾区域・飛行場の衛生状態を明らかにするためのベクターサーベイランスも実施されている。

### 厚生労働省：動物の輸入規制

輸入時の証明	狂犬病	哺乳類
	野兔病	うさぎ目
	ペスト、サル痘、腎症候性出血熱、野兔病、ハンタウイルス肺症候群、レプトスピラ症	げっ歯目
輸入禁止	ウエストナイル熱、高病原性鳥インフルエンザ <sup>*</sup> 、低病原性鳥インフルエンザ <sup>*</sup>	鳥類
	SARS	イタチアナグマ、タヌキ、ハクビシン
	ニパウイルス感染症、リッサウイルス感染症	コウモリ
	ペスト	プレーリードッグ
	ラッサ熱	ヤワゲネズミ
エボラ出血熱、マールブルグ病	サル <sup>*</sup>	

\*サルについては試験研究用又は展示用サルに限り、一部の国からの輸入が可能

### 厚生労働省：ベクターサーベイランス

ペスト、ラッサ熱、南米出血熱、腎症候性出血熱、ハンタウイルス肺症候群	ネズミ類
ジカウイルス感染症、チクングニア熱、デング熱、マラリア、ウエストナイル熱、日本脳炎	蚊

### 農林水産省：動物検疫

監視伝染病（家畜伝染病、届出伝染病）	偶蹄目、奇蹄目うま科、うさぎ目うさぎ科、家きん
レプトスピラ症	イヌ
狂犬病	犬、猫、あらいぐま、きつね、スカンク
エボラ出血熱、マールブルグ病	サル

### 参考：その他の野生鳥獣の輸入規制

#### ■ワシントン条約



一定の種が過度に国際取引に利用されることのないように保護する

哺乳類：894種+33亜種  
鳥獣：1434+39亜種

#### ■愛玩飼養・鳥獣等の輸入規制



出所を明確にすることによって、違法な鳥獣の捕獲等の防止を図る

哺乳類10種、鳥類：22種+1亜種

（タヌキ、キツネ、テン、イタチ、チョウセンイタチ、アナグマ、ニホンカモシカ、キタリス、ニホンリス、ムササビ、ヤマドリ、オシドリ、オオタカ（日本産亜種）、コガラ、ヤマガラ、ヒガラ、ヒバリ、ウグイス、メジロ、ツグミ、コマドリ、ノゴマ、コルリ、キビタキ、オオルリ、カワラヒワ、マヒワ、イスカ、ウソ、コイカル、イカル、ホオジロ、ミヤマホオジロ、ノジコ）

### 厚生労働省

<実施中のサーベイランス>

狂犬病、SARS等

感染症法、狂犬病予防法に基づく動物を診断した獣医師による届出

狂犬病

ウエストナイル熱

<検査などを行う所管研究機関>

国立感染症研究所

地方衛生研究所

野生動物の狂犬病検査

ウエストナイル熱の早期流行予測のためのカラス等の死亡鳥類調査

ねずみ媒介感染症

検疫所

検疫所ベクターサーベイランス  
ペスト、ラッサ熱、南米出血熱、腎症候性出血熱、ハンタウイルス肺症候群

厚生労働科学研究費補助金

SFTS、E型肝炎、食中毒細菌、リッサウイルス感染症（狂犬病を含む）、高病原性鳥インフルエンザ、ウエストナイル熱、オースキー病、ブルセラ症、豚丹毒、リフトバレー熱、日本脳炎、回歸熱、ダニ媒介性脳炎、バルトネラ感染症、サルモネラ症、カプトサイトファーガ症、エキソコックス症、キンガジュー回虫症、トキソプラズマ症、旋毛虫、肺吸虫、等

### 農林水産省

<実施中のサーベイランス>

豚熱、アフリカ豚熱

ウエストナイル熱

野生動物におけるサーベイランス

<検査などを行う所管研究機関>

動物衛生研究所

野生動物監視体制整備事業（終了含む）  
結核、ヨーネ病、ブルセラ症、牛ウイルス性下痢、悪性カタル熱、アカバネ病、トリヒナ（旋毛虫）症、オースキー病、豚繁殖・呼吸障害症候群、豚丹毒、豚流行性下痢、豚熱、トキソプラズマ症、ニューカッスル病、シカ慢性消耗病  
野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス検査機関の1つ

安全な農畜水産物安定供給のための包括的レギュラトリーサイエンス研究推進事業

口蹄疫、アフリカ豚熱、高病原性鳥インフルエンザ、シカ慢性消耗病

科学研究費助成事業

犬ジステンパー、ウエストナイル熱、A型インフルエンザ、SFTS、SV40、アフリカ豚熱、狂犬病、ハンタウイルス、パラボックス感染症、オウム病、E型肝炎、ロウウイルス、日本脳炎、リクッタ感染症、ライム病、ブルセラ症、ヨーネ病、サルモネラ、エルシニア属菌、パステラ属菌、レプトスピラ症、カンピロバクター、薬剤耐性菌、志賀毒素産生大腸菌、バルトネラ属細菌（猫ひっかき病を含む）、鳥マリア、バベシア属原虫、オコセルロシ症、トキソプラズマ症、ヘパトリオン原虫、クリプトスポリジウム症、広東住血線虫、疥癬、等

### 環境省

<実施中のサーベイランス>

高病原性鳥インフルエンザ

大量死の情報収集

<検査などを行う所管研究機関>

国立環境研究所

自然共生研究プログラム  
鳥インフルエンザ、豚熱、SFTSなど  
野鳥大量死の受動サーベイランス  
高病原性鳥インフルエンザ、低病原性鳥インフルエンザ、ウエストナイル熱、オウム病、サルモネラ感染症、ニューカッスル病、真菌性疾患  
哺乳類の死因調査  
Q熱、ブルセラ症、レプトスピラ症

環境研究総合推進費

SFTS、鳥インフルエンザ、豚熱、ウエストナイル熱、血液寄生原虫  
輸入動物に随伴する病原体